

作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941

作新学院 硬式野球部

創部120周年記念式典



祝・硬式野球創部120年

同窓会会長 安藤 寛樹(昭和45年卒)

作新学院同窓会の皆さん新年おめでとうございます。3年前からのコロナ禍が中々収束できず、昨年末からのコロナ第8波の感染拡大など大変な年が続き、日本経済はもとより世界経済にも大きな悪影響をもたらしています。お互い感染に注意し日常生活を送りましょう。

さて、昨年・一昨年とコロナ禍により同窓会の各種事業が開催できず残念な年が3年も続いていましたが、昨年11月より各種事業を再開、ゴルフ大会・異業種交流会を開催しました。久しぶりの仲間と再開し、大いに盛り上がりました。やはり顔と顔を合わせ近況を話せることの大切さを痛感しました。今年は3年ぶりに新成人祝賀会“20を祝う会”を開催いたします。そしてコロナの状況を見ながらにはなりますが、1月中旬には青年部によるバーベキュー大会も開催予定です。

昨年はとちぎ国体が開催され、多くの卒業生・現役学生が参加し大いに活躍をいただきました。軟式野球は見事優勝、体操競技は準優勝、ボクシング等他部活も大いに活躍いただき嬉しい限りです。

そして昨年11月には硬式野球創部120年祝賀会が

開催され、多くの卒業生、関係者を一堂に会し、現役選手も参加して大変盛り上がった祝賀会でした。江川投手とバッテリーを組んだ亀岡(旧姓小倉)硬式OB会会長の挨拶に始まり、船田はじめ先生の挨拶に続き、各学年のOB達のエピソードなどを交えた話など、大変和やかな祝の会が開催されました。

これまで同窓会は部活動を主に支援してきましたが、3年前より“学業支援基金”を設立し、学業支援を始めました。一昨年も現役東大合格者を含め、素晴らしい結果を残してくれました。また、多くの学生たちがボランティア活動に参加し、文武両道プラス社会貢献活動という新たな校風を作り出してくれたこと、同窓会としてもうれしい限りです。

同窓会は“一校一家の精神”のもと、母校作新学院の発展の為、学院と力を合わせ作新の絆を大切にしっかりと支援をしながら地域社会発展に寄与したいと思っています。

今後共皆様方のご協力を賜り、学院の発展と今年1年が皆様の輝かしい年であることを祈念申し上げます。



日本の地位の低下を防ぐために

作新学院 院長 船田 元

作新高校同窓会の皆様、如何お過ごしでしょうか。3年に及ぶコロナ禍のため、同窓会の集まりも難しい時期を経験しましたが、徐々に日常を取り戻していきたいと思います。また作新学院の生徒たちも、コロナ禍の中でも必死に勉学や部活に取り組んでおります。先般開催された「いちご一会とちぎ国体」でも、選手や吹奏楽、補助員として各場面で頑張りました。

ところでアメリカの度重なる利上げに伴い、内外の金利差が明確になり、我が国の円が売られ、円安の傾向が止まりません。日本は物価高の局面を迎え、本来なら金利を上げるべき時ですが、大量に積み上がった国債の膨大な利払いに直結するために、なかなか上げることができません。国債の膨張が政策選択の幅を確実に狭めているのです。一日も早く、少なくとも国債発行ゼロを実現しなければなりません。

もちろん円安は輸入物価の高騰を招き、ドル建ての実質GDPを下げることとなりますが、私はこれによる日本の価値の低下を憂えているわけではありません。次に指摘するような、もっと根底における日本の地盤沈下を心配しているのです。

3年近くにわたりコロナ禍が長引き、企業の体力、取り分け中小企業の体力が落ち込んでいます。政府も持続化給付金や雇用調整助成金など、矢継ぎ早に支援策を行いました。企業側には借金が膨大に溜まっています。飲食店を中心に規制が厳しかった上に機動的に緩和されず、ズルズルと体力を落としてしまいました。倒産や廃業が相次ぎ、スタートアップの企業もなかなか現れません。

エネルギー価格の高騰も大変ですが、より深

刻なのは電力供給が逼迫していることです。夏冬の電力需要がピークを迎える時期には、需給逼迫が恒常的に心配になっています。一般的な節電では乗り切れず、個別事業所ごとに電力抑制を依頼したり、計画停電を実施しなければならいかもしれません。安全性を確認した上での原発再稼働もままならず、再生可能エネルギーの飛躍的拡大も、立地場所に限界があり、送電網の脆弱性も露呈しています。

科学技術分野においても危機が訪れています。特に優秀な引用論文数が4位から12位に落ち込むなど、基礎研究の体力が落ち込んでしまいました。資源の少ない我が国が世界と伍して競争していくには、科学技術力が何よりも欠かせません。しかし若手の大学でのポストが少なかったり、科研費などが行き渡らなかつたりしています。研究時間が足りないことも指摘されます。また基礎から応用、実用化に進む手前で、いわゆる「死の谷」が乗り越えられないでいます。

これらの深刻な課題を克服するには、まさに強力な政治のリーダーシップと、現状を打ち破る改革精神、そして高い倫理観が求められます。かつて政治改革の立役者だった日本の政治家は、次の言葉を発しています。「確かに人類の歴史上、長期にわたって生き残った国は、例外なく自己改革の努力を続けました。」今まさにこの言葉を思い起こし、あらゆる改革に躊躇することなく挑戦しなければなりません。「作新民」という建学の精神を掲げる我が作新学院も、日本の窮状を救う人材の育成に、真剣に取り組んでいきます。

学院近景





国家存亡の今こそ、「作新」の時

作新学院 理事長 畑(船田) 恵

日頃は作新学院の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。withコロナも3年が経とうとしていますが、作新ではピンチをチャンスととらえ、ICTの活用により主体性や国際性を伸ばす「ハイブリッド教育」の発展に取り組んでいます。

そうした中、昨秋、早稲田大学の招きを受け「大隈講堂」で講演する機会をいただきました。同大は今年で創立140周年、本学と3年違いで、両校はほぼ同じ時期、同じ時代背景の中で設立されました。

140年前の日本と言えば文明開花華やかかなりし頃ですが、両校創設の背景には、西欧列強に四方八方から取り囲まれ、国家の主権が脅かされんとする国家存亡の危機がありました。軍事力、科学技術力、経済力など、あらゆる力で圧倒的な優位に立つ西欧列強と対等に渡りあい、国家の独立を堅持し国民の安寧を守るには、それを担うだけの能力と志を有した人財を一人でも多く世に輩出せねばならない。

そんな切実な思いから、大隈重信は早稲田大学を創設し、作新学院の前身である洋学の学問所「下野英学校」の創立者・船田兵吾のもとには、国を憂い西洋の学問を学びたいという志士たちが参集したのだと思います。

早稲田大学の校歌には、「進取の精神、学の独立」という建学の理念が謳われています。国家存亡の危機を救うには、自ら困難な課題に果敢に挑戦する進取の精神に富んだ人財が必要であり、またそのような人財を育成するためには、既存の組織や前例・慣習に縛られることなく、自律した“個”を育める独立した学問環境が必須である、という思いが、この校歌には刻まれていると思います。

こうした教育理念は、驚くほど作新学院と共通しています。

まずは、校名に込められた「作新(新しきを作せ)」という志。その出典は中国の四書五経の一つ『大学』の一節ですが、名付け親は勝海舟と言われています。坂本龍馬など幕末の志士たちが師と仰ぎ、西欧列強と対峙しうる海軍力の増強に尽力した勝海舟は、「作新」という校名に“世の中を刷新(イノベート)する”人財を作るという志を託したのだと思います。

また、教育方針の第一に掲げられている「自学自習」。これは、お上や権威に押し付けられ一方的に与えられる教育ではなく、自ら学ぶべきことを自律的に見きわめ選択し学習する、最新の「探究型主体的学習」そのものです。

さらに「学の独立」を守るため、作新も闘ってきました。足尾鋇毒事件で天皇に直訴した田中正造を匿ったことにより、公権力から学院の独立性を侵害された期間は20数年余に及びましたが、そうした蹂躪に屈せず137年に亘り、自由で自律した校風を守り続けてきました。

本来、教育者である船田家が国政に出ることになった背景には、公権力から作新の「学の独立」を守るためという明確な目的があったのです。

残念ながら現在、日本は世界最悪水準の少子高齢化と財政赤字という問題を抱え、その国際的地位も殆どの指標で低下の一途をたどるとい、国家存亡の危機に直面しています。沈没しかねない日本丸を救う道は、グローバルに物事を考え自律的な人財を一人でも多く世に送り出す以外にありません。

日本の未来を拓く志士の一人として私たち作新学院は、創立の理念を全うし総力を結集して、国難を乗り切れる人財を育てて行きたいと思ひます。

学院近景



高等部各部 部長紹介



未来のリーダーを 育むために

トップ英進・英進部 部長
軽部 幸治

今年度から伝統と実績を誇る作新学院高等学校のトップ英進部・英進部長に奉職し、職責の重さを噛みしめております。昨年度まで宇都宮高等学校に校長として勤務していましたが、拙い経験を活かすべく誠心誠意精励いたしますので、同窓会の皆様方には、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ禍の猛威は続き、本人の罹患や濃厚接触で自宅待機を余儀なくされる生徒が再び増加しております。「学びを止めない」を合い言葉に、引き続き、オンライン授業配信、ICTを活用した個別支援等、夢の実現に向かって己を賭け続けるトップ英進・英進部の生徒たちを、より質の高いレベルで支援したいと考えております。また、将来様々な場面でリーダーたるを求められる存在に育てていくため、「人格の完成(人間の成長)」を最大の目的に、社会のリーダー育成のため、ICT活用とアクティブ・ラーニングも一層推進し、リベラルアーツ等を重視した教育プログラムを実践して参る所存です。

高校での学びでは、いわゆる教科書で学ぶものはもちろん重要ですが、学校行事、生徒会活動、一流の方による講演会等、授業以外で学ぶものもより重要です。例えば、合唱コンクールの曲選びや練習方法の工夫等、様々な意見を尊重しながら多くの人に理解してもらえるような答え(納得解)を見つけ出す経験や少数意見(マイノリティー)への配慮など、教科書以外から学ぶ体験等は、高校時代に学ぶべき最も重要なことと考えます。

感染症対策と学びの保障の両立を目指し、今年度、トップ英進・英進部は独自の学校行事等も再開いたしました。同窓会の皆様には、その運営に係るご支援を賜り、大変ありがたく思っております。心から感謝申し上げます。ポスト・コロナで私たちの生活様式は変わりました。だからこそ、社会環境の変化に対応しながら、目に見えないものと向き合い、困難の先にある希望を見つけ出すことのできる人間として生徒を成長させたいと思っておりますので、同窓会の皆様には、引き続き、御指導と御鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。大変な状況が続いております。くれぐれもお体を御自愛ください。



変化の波に対応できる 人材の育成を目指して

総合進学部 部長
高橋 光男

作新学院高等学校同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

総合進学部は「文武両道」を合言葉に「自ら学び、自分の考えを持ち、社会の中核として活躍できる人材の育成」を目指しています。また、「学業」・「部活動」・「社会貢献活動」など、幅広い分野で活躍する多様性に満ちた生徒たちで構成され、教室内外の活動を通して、他の生徒と学び合い、多様な考えに触れ、切磋琢磨することで人間力を育んでいます。

産業構造や社会システムが「非連続的」といえるほど急激に変化している現代社会においては、実社会で求められる能力も刻々と変わり続けています。これにより、特定の分野に関する知識や技能だけではなく、多分野に関する知識や、新たなことを学び挑戦する意欲を育むことが求められます。

2022年4月、高等学校を取り巻く環境は大きな節目を迎えました。今年度の新入生から高等学校の新学習指導要領が年次進行で実施され、「令和の日本型学校教育」の実現に向けて本格的に改革がスタートしました。さらに、成年年齢や裁判員等の対象年齢が18歳に引き下げられ、日本社会における18歳という年齢の重要度が増しています。成年年齢の引き下げは、若者の積極的な社会参加を促すと共に、高校生が社会的・職業的自立に必要な資質・能力を身に付けることは極めて重要です。

また、現在は第4次産業革命ともいわれるように人工知能やIoTなどの急速な発展に伴い、学校でもICT環境の整備とその活用は必要不可欠です。総合進学部でも今年度の新入生から全員がiPadを所持し、ICT機器を積極的に活用することで、従来の対面式授業をより深化させた教育を実践しています。予測困難な時代、「どれだけ自分が頑張れたか、やりきれたか」が大切です。「これから生き抜く力」を身に付けるために、生徒たちには高校時代の「今しかできないこと」「今だからできること」を積極的に挑戦して欲しいと願っています。

(株)安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>

代表取締役会長 安藤寛樹(昭和45年卒)

代表取締役社長 安藤篤史(平成9年卒)

宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875



手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高神渡(昭和45年卒)

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521



スキルを活かして どう社会貢献するか

情報科学部 部長
長岡 正

作新学院高等学校同窓会の皆様、新年おめでとうございます。作新学院では昨今のコロナ禍であっても「学びを止めない」を合言葉に県内の高校の中でいち早くオンライン学習を取り入れ学習活動を継続してきました。このコロナ禍によって学校現場でできることができた大きな成果はICT活用技術の飛躍的な向上だと思います。現在、対面での授業が再開されてからもICT機器を大いに活用し学習効果を高めています。

情報科学部は商業システム科、電気・電子システム科、美術デザイン科、自動車整備士養成科、ライフデザイン科の5つの専門学科と普通科総合選択コースの計6学科で構成されています。すべての学科で実技・実習の授業、いわゆる体験型の学習を中心として教育活動を行っております。このコロナ禍において実技・実習授業の展開が困難な状況もございましたが、ICT機器の活用と現場の創意工夫により感染症対策と両立した授業展開を行っております。

また、情報科学部では卒業生の約半数が就職を希望しております。そしてそのほとんどが地元企業に就職しています。県内各地で活躍されている同窓生の皆様に支えられながら、今年度も内定率100%を達成することができました。進学につきましても作新学院大学をはじめ公立大学、私立大学に多数の合格者を輩出して実績を残しております。

情報科学部の教育理念に『自らの意志で生き方を決定し、自立した人間として社会に貢献できる人材を育成する』を掲げております。今後も同窓生の皆様のご支援を賜りながら、この理念を実現するために教育活動を継続していく所存です。

最後となりますが、作新学院高等学校同窓会の益々の発展と同窓生の皆様のご健勝ご活躍を心よりご祈念申し上げます。

同窓生紹介

さまざまな分野で
活躍する同窓生！



「アンテナ」

リオ五輪 競泳 金メダリスト
萩野 公介
(平成25年卒)

同窓生・卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。早いもので、2022年も過ぎ去ろうとしています。今年の冬は、これまでのように合宿をしながら過ごすというわけではなく、「今年も一年こんなことがあったな」とじっくり振り返ることができる日々を過ごしています。

私は、2020東京オリンピック(実施されたのは2021年ですが)の後に、現役を引退しました。現役の頃(特に学生の頃、中学生や高校生)は、「みんなが休みの時ほど合宿だ!」というように年末やゴールデンウィークなどなど、連休中ほど合宿が多かった思い出があります。当時は、休みの子たちが羨ましかったりしたのですが、今となっては、それもいい思い出です。人生全てが経験だと思っていますし、僕もまだ28歳ですので、人生100年時代と言われている現在、「これからまだまだ人生続くな」と思っているところです。引退した後、現役の選手たちを見てよく思うことは、「今後の人生であれ以上何かに打ち込んだり、全力で日々を過ごすことは今後あるのだろうか」ということです。だからこそ、彼らには「日々の練習、きついかもしれないけどそれも青春なんだよ」とよく言います(実際にその環境に身を置いていると、客観的に自分をみるということはなかなか難しいことだとは思いますが)。

これからの私の人生は、日々そのようにいろいろなことがおきながら、過ぎていくものと思います。でも、ただ日々を過ごしていくのではなく、一つひとつのことにアンテナを張り、美しいものを美しいと感じ、奇麗だなど思うことに奇麗と感じ、悲しいことには悲しいと感じ、嬉しいことには嬉しいと感じ、たくさんのことを感受性豊かに生きていくことがとても大事だと思います。日々はその積み重ねで、人生もそれらの日々から成り立っています。それが、自分の幸せというものに繋がるように、日々を感じながら生きていきたいです。皆さんも、優しい心を持ち、人に優しく息をしていきましょう。それが、人が生きる、人生という事です。

今年も皆さんが健やかな一年を過ごせますよう、心から願っております。



(総合建設業)

中村土建株式会社

代表取締役社長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)
宇都宮市大曾4-10-19 tel028-622-6581

仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

代表取締役社長 仲田 陽介 (平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

作新学院高等学校同窓会

令和4年度 定時総会

副会長 天野辰美(昭和45年卒)

令和4年度作新学院高等学校同窓会定時総会は、令和4年6月17日新型コロナウイルス対策に万全を図り3年ぶりの通常開催とし、57名の出席者のもとホテルニューイタヤに於いて開催実施致しました。

安藤篤史総務企画部長の司会進行により、吉高神渡副会長(昭和45年卒)の開会宣言の後の学院歌斉唱では、コロナ対策のため参加者はそれぞれの母校への熱い思いを胸に秘めながら「心の中での学院歌斉唱」となりました。

安藤寛樹会長(昭和45年卒)の主催者あいさつでは、文武両道社会貢献を掲げる母校作新学院から、東京オリンピック・パラリンピックに出場した5人の卒業生の皆さんが、それぞれ世界のアスリートを相手に好成績を残したことに敬意を表しました。

また、母校での軟式野球部10回の全国制覇、硬式野球部10回連続の甲子園出場、英語ディベート全国大会授業部門での2連覇、国公立大学・難関私立大学への高い合格実績等、在校生たちの活躍に卒業生の一人として誇りに思うとともに、同窓会活動の一つの柱として母校の発展に引き続き寄与していきたいと結びました。

来賓として出席された作新学院高橋光男総合進学部長(昭和54年卒)、吉羽茂栃木県議会議員(昭和43年卒)、熊本和夫宇都宮市議会議員(平成5年卒)より定時総会開催への祝辞を頂き、議事に入りました。

議事は、青年部の前田貴之(平成9年卒)さん、山形哲也(平成10年卒)さんを議長団に選出し審議に入りました。

- 第1号議案
- ・令和3年度事業報告並びに決算について
 - ・令和3年度基本特別会計報告について
 - ・令和3年度学業支援基金収支明細報告について
 - ・令和3年度ふれあい基金収支明細報告について
 - ・監査報告
- 第2号議案
- ・令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- 第3号議案
- ・令和4年度5年度の役員改選について

第1号～第3号議案まで慎重審議の結果、原案通り承認され、新体制の同窓会役員の紹介と挨拶の後、永年同窓会活動にご尽力されるとともに母校作新学院の発展に寄与され今回退任される鈴木勲様に、安藤会長・船田学院長連盟の感謝状が記念品と共に贈呈され、定時総会は、小牧英夫副会長(昭和56年卒)の閉会のことばで、恙なく終了しました。



作新学院高等学校 P・T・A

会長 片柳二郎

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

(有)川口写真館

代表取締役 川口修一(昭和44年卒)

川口近成(平成20年卒)

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

(株)本澤建築設計事務所

<http://www.honzawa-net.co.jp/>

代表取締役 本澤 崇(平成2年卒)

専務取締役 本澤 淳(平成5年卒)

宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

(有)石川建築構造設計事務所

専務取締役 石川 嵩文(平成15年卒)

宇都宮市下岡本2507-3 TEL.028-673-6865

<https://www.ishikozo.co.jp/>

第7回 作新学院 異業種交流会の開催

代表世話人
益子 和 大 (平成6年卒)



11月11日、ホテルニューイタヤに於いて作新学院同窓会 異業種交流会『すそを広げる会』が3年ぶりに開催されました。3年前には無かった、入室時の検温、消毒、アクリル板、個別での料理の提供など、感染対策を充分に行った中での開催でした。学院歌を心の中で斉唱したのも初めてだったかもしれません。来賓の船田学院長に御挨拶いただき後輩たちの活躍や学校での取り組みを教えていただき母校の絆に気付くと共に、深める機会になりました。この3年で多くの企業においては、テレワークの推奨やオンライン会議、Web面談など、格段にDX(デジタルト

ランスフォーメーション)化は進みました。しかし一方では、リアルに対面でなければ伝わらない事が多くあると思います。新規10名を加えた50人も参加者が居たことも、対面での開催に大きな期待があったのだと思います。2月のロシアのウクライナ侵攻に加え、歴史的な円安、物価高、更には働き方改革と、企業を取り巻く経営環境は非常に厳しいです。作新学院高等学校の卒業生はおよそ13万人を輩出しています。高校時代の3年間で学んだ、一校一家の精神をベースに、リアルに対面での開催で、一歩進んだビジネスマッチングに繋がったり、経営の苦悩や成功例なども共有したり、逆にリアルでなければ話す事の出来ないオフレコの話の話をしたり、貴重な時間を過ごせました。恒例の船田先生を囲んだ、スクラムの写真撮影も楽しい時間でした。

作新学院同窓会「第6回親睦ゴルフコンペの開催」について

広報部 副部長
中島 一 晴 (平成5年卒)



令和4年11月17日(木)広報部主催により、「第6回親睦ゴルフコンペ」を日光市光徳の鬼怒川カントリークラブにて開催しました。秋の色が深まる日光連山を背景に天候にも恵まれた中、安藤寛樹会長をはじめとして総勢27名の同窓生が参加し、日頃のゴルフの腕前を競い合いました。

プレー終了後、同会場にて表彰式を兼ねた懇親会を開催しました。パーティーでは、安藤寛樹会長の開会のごあいさつから始まり、表彰式では入賞者

にはその成績をたたえ、たくさんの豪華賞品が授与されました。腕に自信のある方はもちろん、ゴルフが得意でない方も気軽に参加でき、先輩や後輩、同級生と同じ作新学院同窓生として交流を深めることができます。次回は更に参加者を増やして開催したいと思っております。今回は皆さんの作新学院同窓生の友人知人をお誘いあわせのうえ、ご参加をお願いしたいと思います。

結果
優勝：高梨 義久 さん (平成3年卒)
2位：倉橋 耕平 さん
3位：遠藤 盛 さん (昭和58年卒)
ベストスコア：星 雅之 さん スコア-83
女性の部 優勝：安藤 敏子 さん

東京作新会の活動

東京作新会会長
君島 孝 夫 (昭和40年卒)



作新学院高等学校同窓会のみならず、コロナ禍ではありますが、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

東京作新会は半世紀以上の歴史を持ち、東京近郊の作新学院同窓生が年に一度集り親睦を深め作新学院の文武のご活躍と船田元先生の教育活動、政界での御活躍に会員一同期待と誇りを持って応援しております。ここ数年はコロナウイルス感染の影響で総会は開催できず、延期・中止となっておりますが、東京作新会会員も高齢化により参加者も年々少なくなっている中、今回の開催時には若手の卒業生も参加される様ですので今から楽しみにしております。

また久々の総会には同窓会会長様、幹事様、事務局長様にもご参加いただき作新学院高校の積もるお話をお聞きしたいと思っております。また会員の皆様より近況報告をいただきたいと存じます。

作新学院の卒業生の方(東京近郊の方)・・・入会をお待ち致しております。「ご連絡下さい」

東京作新会 世話人
連絡先 君島 孝夫 ☎0123-57-7811
相場 啓介 ☎03-5453-1616
女性部 柿沼 秀毅 ☎03-5711-8311
海藤 政子 ☎03-3392-7032
落合 明子 ☎048-269-2020
松山 文子 ☎070-3624-3024

(総合建設業)
株式会社 新生工業

代表取締役 櫻井 英治 (昭和57年卒)
宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

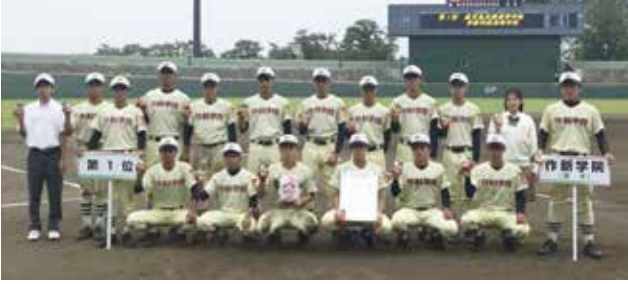
MetLife
メットライフ生命

宇都宮エイジェンシーオフィス
古谷 祥一 (昭和58年卒)

〒320-0026 宇都宮市馬場通り2-1-1メットライフ宇都宮スクエア9F ☎028-651-2429

軟式野球部 国民体育大会 9度目の日本一

軟式野球部 監督 黒川 陽介



第77回国民体育大会「いちご一会栃木国体」が10月2日から5日まで栃木県宇都宮市の県総合運動公園野球場で開催された。今大会は地元開催であり、8月の全国大会で連覇を逃し悔しい思いをし、雪辱を果たすための大会でもあり優勝することが最大の使命であった。組み合わせ抽選が行われた結果、1回戦は8月の全国大会で優勝した中京(岐阜県)と対戦し、勝ち進み準決勝では、全国大会で敗れたあべの翔学(大阪)と対戦することができる、またとないチャンスがある組み合わせとなった。子供達も「最高の舞台」で「最高のチーム」と戦えることに喜びを感じ、大会前の練習でも充実した毎を送り大会を迎えることができた。

1回戦ではエース福島綾人が、切れの良いスライダーで中京打線を翻弄し散発2安打で三塁を踏ませない快投で、本人も「満足できる内容」と振り返りほど完璧な投球だった。攻撃は7回に値千金の適時二塁打を放ったのは大沼琉玖。2死二塁から左越えに運び待望の先取点をあげた。6回1死3塁のチャンスを逃した直後だったので大きな1点であった。今夏の全国大会覇者で大会4連覇を目指す中京(岐阜)を1-0で下す「金星」を飾り、ベスト4に駒を進めた。

準決勝は今夏の全国大会で苦杯を喫した、あべの翔学(大

阪)対戦し、この試合もエース福島綾人が前日の1回戦でもスライダーが威力を発揮したが「今日の方が良かった」と相手打線を手玉に取り、散発2安打で二塁を踏まぬ完璧な内容で7回1死まで走者すら出さない1回戦同様に完璧な内容だった。攻撃は三回大沼琉玖の死球を足場につくった2死三塁のチャンスに吉田諒が左前適時打を放ち、序盤で主導権を握り1-0で勝利し、二試合連続無失点で決勝進出を果たした。

決勝は、鹿児島実業(鹿児島)に苦しい試合展開で、相手投手の微妙に変化するボールに手こずり得点を奪えず、六回の守備においては、1死2・3塁の大ピンチを迎えたが、満塁策を取り、この作戦が見事に成功して1-2-1-3の併殺プレーで切り抜けた。結局、両投手の投げ合いで9回までに得点を奪えず0-0で大会規定により、引き分け両校優勝で作新は7年ぶり9度目、鹿児島実業は初優勝を果たした。今大会は振り返ると作新らしい内容で、3試合でエース福島綾人は計27回を完封。守備重視の練習の成果で守りは無失策。打線を数少ないチ



ャンスを確実に得点に絡めることができた。現チームの最後となる大会で目指していた「守り抜く野球」でき「最高のチームで有終の美」を飾ることができた。

今回は地元開催で、多くの皆様からのご支援とご声援に支えられ、感謝の言葉しかありません。応援団、吹奏楽、チアリーディング、生徒会、引率の先生方、OB会、保護者会等の皆様から送られた大声援は試合中に大きな勇気を与えてくれました。これからも多くの人々から愛され、応援してもらえる部を目指して精進を重ねてまいります。大変お世話になりました。

『高校3冠・国体体操総合優勝』を達成して

体操競技部チーフ顧問 前田 光弘

『僕は、国体で活躍するためだけに栃木県に来ました』と言うのは、いちご一会栃木国体祝勝会での小野涼城の一言。その言葉の重みをずっしりと感じた。また同時にその表情は安堵感に包まれていた。国体少年男子チームは本校体操部の単独チームで臨んだ。全員が県外からの選手で、高校3冠を達成した谷田雅治も中学2年までは福井県で育ち、母親の実家がある栃木県に来たのは4年前である。ちょうど高校3年の時に栃木国体があるとすることで、全国より選手勧誘を行った。中心で動いたのは谷田治樹外部指導者である。谷田氏は息子雅治に近い有望選手に声を掛け、5名の選手が全国制覇に向けて集まって来た。それまで本校は、毎年インターハイには出場していたが、上位常連校ではなかったため、『作新学院で全国制覇?』と疑問はあったことであろう。

入学後は日々の厳しい練習と、寮での団体生活で心・体・技を磨き、2年目で関東大会団体2位。個人総合では、谷田が2年生で優勝。インターハイ・全日本ジュニア共に団体3位と破竹の勢いで作新旋風を巻き起こし、3月の高校選抜では個人総合優勝。そこから全日本選手権・NHK杯などこれまで経験したことのない大会にも出場し、更に高校生で唯一予選を通過す

る等、体操界に『作新学院ここに有り』を示した。そして、今年度はインターハイ・全日本ジュニアを危なげなく個人総合優勝を果たし高校3冠達成した。これはあの内村航平氏ですら成し遂げられなかった快挙だ。団体も同2大会・栃木国体の3大会で準優勝と栃木県体操界史上始めて以来の快挙を達成した。県民性か『地元選手でやるだけやってダメなら仕方ない』という考え方が多い中、『やるからには優勝』を掲げて努力した結果、『国体体操総合優勝』を手にすることができた。県外から体操留学で来た選手たちは、地元選手以上に強烈なプレッシャーを感じて戦いに挑んだであろう。それを跳ね除けて見事に結果を出したのだ。その精神力に心から敬意を表し讃えたい。



高校3冠の谷田雅治



栃木国体少年男子準優勝メンバー

作新学院「二里山会」について

二里山会会長 高橋光男(昭和54年卒)

作新学院高等学校同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「二里山会」とは、作新学院の前身である下野英学校が県庁東側の二里山(現在の栃木県立図書館付近)に所在していたことに由来し名付けられました。作新学院を巣立ち、再び母校に戻って奉職した教職員で構成される親睦団体です。

発足は1994(平成6)年で、発足時の会員数は176名と伺っております。その後、2003(平成15)年には191名の会員数となり、当時の教職員の約4割に相当します。現在の会員数は、幼稚園から大学短大まで合わせて144名。内訳は、高等学校76名、中等部14名、小学部6名、幼稚園12名、事務局21名、大学短大教職員15名で、

今年度は高等学校に3名の新会員が加わりました。

二里山会の主な活動は、年1回開催の「総会」(活動報告・会計報告・役員改選等)と、ご退職された方の送別会および新加入会員の歓迎会を兼ねた「懇親会」の開催があげられます。普段は他の設置校の方々と親睦を図ることが少ないなかで、二里山会での交流はとても貴重な機会といえます。しかし、新型コロナウイルスの影響から3年連続で懇親会を開催できなかったことは誠に残念でなりません。

私たち二里山会員は、母校の教壇に立つ者としての責任を胸に、相互の連携を深め、微力ではございますが学院ならびに同窓会の更なる発展に少しでも貢献できれば幸いです。

作新経済同友会の活動について

作新経済同友会 事務局長 鈴木 勲(昭和38年卒)

作新経済同友会は、同窓会と連携を取りながら、業種の異なる会員による幅広い交流によって会員相互の親睦と経済的な地位向上を目指して、毎月1回の定例会を実施しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染症第7波の影響を受け、定時総会は4月22日に開催は出来ましたが通常例会(5月・7月・8月・9月・11月)はすべて中止となりました。

しかし、会員皆様が開催を待ち望んでいました「蕎麦会」を、新型コロナウイルス感染症第7波の影響が少ない6月に、経済同友会会員、落合 功名人(蕎麦打ち2段)のご協力によりおそばを味わいながら、腹いっぱい食し有意義な「そば談義」を今年度は実施することが出来ました。期待通りの蕎麦会となり会員一同 落合 功名人には深く感謝しています。

また毎年行っている研修旅行は、新型コロナウイルス感染症第7波の影響が落ち着いた時期を狙うこ

とにより、急な視察・研修旅行のご案内となり会員の皆様には事前の周知が出来ずご迷惑をおかけいたしました。10月13日(木)に栃木県那須烏山方面に向かい、龍門の滝(江川にかかる、高さ20m幅65mの滝。中段には、男釜(おがま長径約4m)、女釜(めがま直径約2m)と呼ばれる二つの縦穴がありこの男釜に住むといわれる『龍』の伝説が名称の由来になっている。)を見学し、昼食はひのきやの鮎尽くしに満足し、その後栃木県と茨城県をまたいで立っている鷲子山上神社を参拝し、参加者は少数でしたが有意義に親睦を深めてまいりました。



この様な活動を作新経済同友会は行っておりますので、興味ある卒業生の方々は是非事務局までご連絡下さい。

作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

総合建築資材商社

株式会社 白木屋

代表取締役 黒崎 裕康(平成3年卒)

宇都宮市天神1-1-33 ☎028-633-3327
http://www.shiroki-ya.jp/ FAX 028-633-0792

株式会社 コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛(昭和58年卒)

宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330
s-endo@cosmo-kogyo.co.jp

宇賀神工業 株式会社

代表取締役 宇賀神 真一(昭和57年卒)

宇賀神 勇人(平成22年卒)
鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141
ugajins1@ninus.ocn.ne.jp

関東自動車(株)

塩田 和也(昭和63年卒)

高梨 義久(平成3年卒)

小島 英将(平成13年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-634-8131

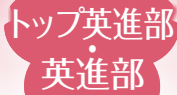
株式会社 渡辺工務店

快適ハウス事業部

取締役 渡邊 良子(平成4年卒)

〒329-2502 栃木県矢板市下伊佐野7-2
TEL.(0287) 44-0517代 FAX.(0287) 43-9928

今年二十歳を迎えられる卒業生


 トップ英進部
英進部

二十歳のお祝いおめでとうございます。

二十歳を迎えた皆さま、おめでとうございます。また、今日まで深い愛情を持ってお子様を立派に育て上げられたご家族の皆様、心よりお祝いを申し上げます。

互いに切磋琢磨しながら放課後遅くまで学ぶ姿、仲間と交流を深めた学校行事、皆さんと共有した多くの時間が今でも懐かしく思い出されます。新型コロナウイルス感染症の影響から、例年とは異なる受験体制の中においても、進路目標を見失うことなくその実現を果たした皆様は、卒業から2年さらに大きく成長されていることと思います。

社会では価値観の多様化が進み、国際情勢や経済も日々刻々と変化しており、これから皆様が進む道は、決して平坦な道ではないかもしれません。しかし作新学院で培った人間力と知性、鍛錬した精神力で、どんな困難や試練も乗り越え自分の道を切り開いていくことができると信じています。このような時代だからこそ、周囲への感謝の気持ちと優しさを忘れずに、たくさんの出会いを大切にしてください。物事の本質を見抜き、より良い社会の実現に向けて活躍されることを期待しています。皆様の前途洋々たる未来に幸多きことをお祈り申し上げます。

令和2年度 トップ英進部・英進部 第3学年主任 金山明子・渡辺 巧



令和2年度卒業時の第3学年担任の先生方



福宮建設株式会社(総合建設業)

代表取締役 **福田 裕**(平成4年卒)

宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070(代)



(有)朋友塗装工業(塗装・吹付・リフォーム)

代表取締役 **小野 朋之**(昭和61年卒)

宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082



Dance School Sheep(JAZZ・HIP HOP・KIDS)

宇都宮市岩曾町1145-42 <http://dance-dance-sheep.com/>

相続税専門税理士 相続税のことなら

尾花税務会計事務所

税理士 尾花一浩(平成元年卒) 税理士 尾花兼司(平成2年卒)

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

ご相談専用 **ダイヤル** ハロー オバナ

0120—806—087



中島塗装株式会社

Nakajima

専務取締役 **中島 一晴**(平成5年卒)

〒321-0972 栃木県宇都宮市下川俣町206番地8 TEL 028-678-3851 FAX 028-678-3852

E-mail : kazuharu@ucatv.ne.jp

今年二十歳を迎えられる卒業生

総合
進学部

二十歳のお祝いおめでとうございます。

二十歳を迎えて名実ともに大人の仲間入りを果たし、輝かしい未来に一步を踏み出された新成人の皆様、心からお祝いを申し上げます。また、今日まで常に深い愛情を持って立派に育て上げられたご家族の皆様、敬意を表するとともに、重ねてお喜びを申し上げます。

さて皆さんの高校2年生の1月から2月にかけて新型コロナウイルスが世界的に発生し、3月から5月までは緊急事態宣言の発令などで学校に通学できない状況でした。特に多くの部活動で大会が中止となり、遠足やスポーツ大会などの学校行事も中止せざるを得なくなるなど、高校3年生の1年間はこれまでの学校生活とは大きく異なるものだったと思います。そんな中でも、自分の将来を懸命に模索し、今できることを考え、進路決定に向けて果敢に挑戦した皆さんの姿は大変立派でした。長い人生に折り返し地点はなく、同じ日が二度来ることもありません。どうか現状に満足することなく、失敗を恐れずに挑戦する気持ちを持って充実した日々を積み重ねてください。挑戦と失敗の積み重ねが自己を強くし、真の大人へと成長させてくれます。皆さんが作新学院で培った人間力を生かし、困難に挫けることなく、自分の信じた道を自分らしく歩み続けることを願っています。

令和2年度 総合進学部 第3学年主任 四元 俊一



令和2年度卒業時の第3学年担任の先生方

Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

代表取締役 伴 誠 (昭和62年卒)

生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

電気工事・通信工事・設計施工

中央電機通信株式会社

代表取締役 設楽厚夫 (昭和47年卒)

宇都宮市中戸祭1丁目9番12号 TEL 028-622-9331

HOTEL NEW ITAYA<http://www.newitaya.com/>

原田 欣明 (昭和61年卒) 四屋 拓郎 (平成5年卒)

福田 吉信 (平成6年卒) 白石 希 (平成20年卒)

宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511

産業廃棄物処理 家屋解体工事のことなら
株式会社 ウスイ産業

代表取締役 白井伸太郎 (平成5年卒)

栃木県宇都宮市北若松原2-11-7 TEL 0285-56-8720

今年二十歳を迎えられる卒業生

情報
科学部

二十歳のお祝いおめでとうございます。

二十歳を迎えられた皆さま、誠におめでとうございます。そして、今日まで皆様を愛情込めて育ててこられましたご家族の皆様には、敬意を表するとともに心よりお祝い申し上げます。

皆様が本学院を卒業された2021年3月は、現在も猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症が日本で広がり始めてから一年経過した時期でした。然しながら、全く収束の兆しささえ見えないことから卒業式は規模を縮小して行わざるを得ませんでした。

今も世界は新型コロナウイルスへの対応に追われています。進学された方も就職された方も思い描いた通りにならない場面も多いと思います。しかし、私達は環境に合わせ生き抜く力を掴み取りつつあります。二十歳の皆様が、作新学院で培った不屈の人間力でこの厳しい時代を乗り越え、ご活躍されると信じています。私達教職員一同、皆様の成長・活躍を末永く応援しています。

最後になりましたが、皆様の前途に幸多きことをご祈念申し上げます。

令和2年度 情報科学部 第3学年副主任 佐藤 稔



令和2年度卒業時の第3学年担任の先生方

(有)坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭(昭和31年卒)

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003
FAX 028-632-9148

割烹弁当の老舗

株式会社 新三(しんざ)

代表取締役 鈴木郁夫(昭和24年卒)
宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

☒ 関東ツアーサービス株式会社

外山文昭(平成11年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-614-4377



(総合建設業)

末長建設株式会社

代表取締役 末長修一(昭和57年卒)
宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675

昨年度の進路状況

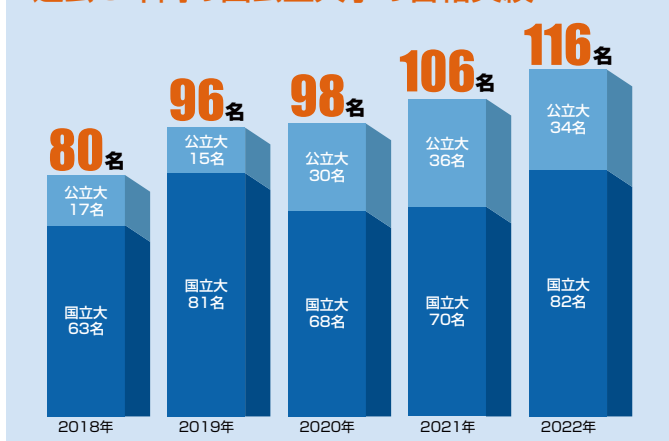
秋田大学医学部医学科1名 東北大学3名 お茶の水女子大学2名 現役合格

～筑波1・金沢3・広島2・埼玉1・東京都立1など**国公立大学に116名**

早慶上理・GMARCH・関関同立などの**難関私大に66名が合格!!**

東京農工3名・電気通信5名・宇都宮大に21名合格 **医学部医学科に16名が合格**

過去5年間の国公立大学の合格実績



2021(令和3)年度の卒業生1,114人名の進路の内訳は、4年制大学に537名、短期大学に53名、専門学校(予備校を含む)に335名が進学し、就職・その他は189名であった。進路の割合は、大学・短大・専門学校への進学は83.0%、就職・その他は17.0%であった。

2022年度入試の国公立大学合格者は、116名(国立大学82名<うち現役76名>、公立大学34名<うち現役32名>)であった。主な合格大学としては、秋田大学医学部医学科1・東北大学3・お茶の水女子大2・筑波大1・金沢大3・広島大2・東京農工大3・電気通信大5・埼玉大1・新潟大3・信州大3・茨城大4・群馬大1・山形大4・福島大6・宮崎大農学部獣医学科1・東京都立大1・名古屋市立大1・高崎経済大1などが挙げられる。このうち、東北大学は、歯学部1名・工学部2名がいずれも現役合格を果たした。また、地元の宇都宮大には、共同教育学部3名・地域デザイン科学部3名・工学部7名・農学部7名の計20名が現役合格を果たした。

一方、私立大学における主な合格大学としては、慶應義塾大2・早稲田大3・上智大1・東京理科大14・立教大8・明治大9・青山学院大3・中央大9・法政大11・学習院大2・同志社大2・立命館大1・関西学院大2・津田塾大4・東京女子大3・日本女子大10・芝浦工業大13・明治学院大7・日本大43・東洋大13・駒澤大7・専修大6など、医歯薬系では産業医科大(医)1・東京医科大(医)1・東邦大(医)1・杏林大(医)1・獨協医科大(医)6・慶應義塾大(薬)1・北里大(薬)1・東京薬科大(薬)1などが挙げられる。

専門学校への進学は、相変わらず「地元志向」が強く県内への進学率は80%を超え、次いで東京、埼玉などの通学圏内の順になっている。美容・ペット関係、IT

ビジネス等について学びたい生徒が、県外の専門学校を選んでいる。県内のペット関係の専門学校は数が少ないために早めにエントリーを済ませる傾向がある。また、医療系(看護・歯科衛生・理学療法・作業療法など)への進学者が多く、専門的に学ぶことで、将来活かせる資格を取得することを目標に堅実な進路選択をしている。特に、看護系には入試区分を変えて何度も挑戦して合格を目指した生徒が多く見られたことが特徴的である。次いで保育、公務員コース、建築設計、美容、調理系などに進学した。将来を見据えた進路を選び合格を果たしている。専門学校は多岐の分野があり、本人の希望だけでなく適性を踏まえて指導することが求められる。

就職については、コロナ禍の影響で差し控えていた求人募集が、今年一気に好転した。それに呼応するかのようになり、本校の就職希望者数も205名と昨年度より51名増加した。さらに、この生徒たちは一次募集の試験において181名が内定という好結果を取ってくれた。内定率88.3%は、本校史上最高値となったのではないかと考えている。内定職種は相変わらず製造業が106名と最も多いが、一昨年は29名、昨年も28名の内定にとどまっていた販売・サービス業が42名と大幅に増加した。ウィズコロナの時代において、巣ごもり需要やステイホーム生活で生まれたトレンドを上手くキャッチし、売上を伸ばした企業が増加したり、Go Toトラベルや県民割など国や地方公共団体の政策が功を奏したりと、この業種に活気が戻った証と考えられる。二次募集も佳境にさしかかっているが、すでに未内定者は数名となっている。年内と言わず、11月中に内定率100%を達成したいと考えている。

2021(令和3)年度卒業生 進路

部	卒業生	4年制大学		短期大学	専修学校 (予備校を含む)	就職 その他	
		進学者実数	延べ合格者	進学者実数			
トップ英進部 英進部	男	131	109	408	0	22	0
	女	114	94	261	1	19	0
	総数	245	203	669	1	41	0
総合進学部	男	222	159	181	3	51	9
	女	206	111	142	31	55	9
	総数	428	270	323	34	106	18
情報科学部	男	234	39	40	0	92	103
	女	207	25	26	18	96	68
	総数	441	64	66	18	188	171
総計	男	587	307	629	3	165	112
	女	527	230	429	50	170	77
	総数	1114	537	1058	53	335	189

運動部 spots

令和4 (2022) 年度 全国大会出場団体主な成績一覧

【運動部】

軟式野球部	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体) 第 67 回全国高等学校軟式野球大会	優勝 8 位	
体操部	全国高等学校体操競技選手権大会	準優勝 団体	
		優勝 個人総合・個人種目 (床・鉄棒)	
		2 位 個人種目 (平行棒)	谷田雅治
		4 位 個人種目 (吊り輪)	
		7 位 個人種目 (跳馬)	
	全日本ジュニア体操競技選手権大会	8 位 個人種目 (あん馬)	
		3 位 個人種目 (跳馬)	小野涼城
		7 位 個人種目 (床)	
		7 位 個人種目 (平行棒)	川口雄飛
		準優勝 団体	
女子バドミントン部	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体) 第 41 回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会	優勝 シングルス 3 位 シングルス 8 位 学校対抗	遠藤美羽 遠藤美羽
	女子空手部	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体)	優勝 団体組手 3 位 少年女子個人形
陸上競技部	第 16 回 JOC ジュニアオリンピックカップ	優勝 800m	平澤潤燕
	全国高等学校陸上競技選手権大会	4 位 三段跳び 5 位 三段跳び	金井晃希 金井晃希
ゲートボール部 (男・女)	第 27 回全国ジュニアゲートボール大会	優勝 ジュニア男子 1 部 準優勝 ジュニア女子 1 部	
	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体)	優勝 女子の部	
パワーリフティング部 (男・女)	第 40 回全日本高等学校パワーリフティング選手権	優勝 52 ㎏級	益子千明
		優勝 63 ㎏級	鈴木蒼彩
		優勝 76 ㎏超級	森田夏光
		6 位 66 ㎏級	高野詩人
		8 位 83 ㎏級	金子大知
自転車競技部	ジャパンカップ 2022	優勝 ホープフルクリテリウム	浅野涼太
	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体)	2 位 男子 4 ㎏ チーム・パシュート	阿久津仰祐 浅野涼太
		3 位 女子 チームスプリント	普久原美海
		4 位 女子 スクラッチ	新沼杏菜
		5 位 男子 1 km タイム・トライアル	阿久津仰祐
		7 位 男子 ケイリン	浅野涼太
	全国高等学校自転車競技選手権大会	3 位 女子 ケイリン	普久原美海
		6 位 1 km タイム・トライアル	阿久津仰祐
		6 位 男子 ケイリン	浅野涼太
		7 位 女子 ポイントレース	新沼杏菜
8 位 女子 500m タイムトライアル		普久原美海	
ゴルフ部	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体)	2 位 男子 団体	中川虎之介
		5 位 男子 個人	中川虎之介
ボクシング部	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体)	2 位 ミドル級	シルバ・イエシユア
		3 位 バンタム級	亀田省吾
		3 位 ウェルター級	市村奏太
	第 1 回全日本女子選手権大会 (ジュニアの部)	3 位 ライトウェルター級	板倉心愛
	全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会	8 位 バンタム級	亀田省吾
		8 位 ウェルター級	市村奏太
8 位 ミドル級		シルバ・イエシユア	
弓道部	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体)	3 位 少年女子 遠的の部	大町恵未
水泳部	第 77 回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体)	8 位 少年女子 B100m 自由形	鈴木里歩

文化部 culture

英語部 ディベート世界大会で8位入賞!!

令和3年12月25日(土)・26日(日)に84校がオンラインで競った「第7回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会2021(一般社団法人パラメンタリーディベート人材育成協会主催、文部科学省後援)」で、トップ英進部2年の小杉あかりさん・近久由真さん・井手上咲良さんが全国準優勝に輝きました。初日の予選では、3連勝した後の第4Rで3年前の世界チャンピオン渋谷教育学園渋谷高校を撃破。さらに、予選全勝で臨んだ2日目の準々決勝・準決勝も順調に勝ち上がって強豪校の筑波大学附属駒場高校に次ぐ準優勝を勝ち取り、世界大会への出場権を獲得しました。

令和4年1月21日(金)・22日(土)、「第7回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会in Zoom」が15か国から24チーム(日本5チーム、海外19チーム)を集めて開催され、小杉・近久・井出上の作新チームは、R1で昨年2位のフィリピン、R3では昨年の優勝に続いて今回大会も連覇したモロッコ1に惜敗したものの、他2試合では見事な勝利を取め、8位入賞に輝きました。また、近久さんが個人賞のベストディベーター賞を3試合で獲得。全参加者中で最高の成績を取ることができました。なお、各チームが文化紹介を行うプレゼンで、作新チームは、栃木の冬の風景、特産物・工芸品・建築物・農産物などを通して日本文化を紹介し、「文化賞」を受賞しました。

令和4年8月5日(金)・6日(土)に開催された「PDA

全国中学校・高校 即興型英語ディベート合宿・大会2022」の「課外初心者部」において、参加したトップ英進部・英進部1年生の作新Bチーム(小池俊太さん・相良洋行さん・飯塚健智さん)が、見事に全国優勝。「授業部」でも、トップ英進部・英進部2年生の作新Cチーム(岩崎志依さん・福地涼介さん・村尾伍さん・佐々木ラウラさん)、1年生の作新Dチーム(高橋英志さん・荒井咲希さん・スミス心花シルヴィアさん・松本光志さん)が3位入賞を果たしました。個人では、相良さん・福地さんがベストディベーター賞、棚橋さん・小池さんがベストPOI賞を獲得。全国レベルで活躍する他校生との交流を通じ、大いに成長することができた体験となりました。

令和4年11月6日(日)、「第14回D-1 英語ディベート選手権大会(兼 第17回全国高校生英語ディベート大会栃木県予選大会)」が宇都宮高校で開催されました。11校から150名・36チームが参加し、A・Bリーグで競われた準備型ディベートで、Aリーグでは作新Aチームが第4位に、学校別で第3位に入賞し、Bリーグでも作新Cチームが第2位に入賞を果たしました。この結果、令和4年12月17日(土)・18日(日)の第17回全国高校生英語ディベート大会に作新Aチームが出場することが決定しました。令和5年度には栃木県で全国大会が開催されます。高いレベルの競い合いを通じ、作新生の英語力向上が益々期待されます。




(総合建設業)
芳賀屋建設株式会社
 取締役 関 明彦 (昭和61年卒)
 宇都宮市築瀬 4-12-28 TEL 028-638-2000

NETIS登録
 KT-100005 防草緑化挿し芽植栽工法
株式会社 落合東光園
 代表取締役 落合 功 (昭和37年卒)
 事務所/河内郡上三川町川中子921 ☎0285-56-3751

株式会社

関 正三 (昭和24年卒)
 〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32
 TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579

日建工業株式会社
 代表取締役 吉川 泰行 (平成2年卒)
 宇都宮市岩曾町179-4 ☎028-625-5021
 FAX 028-625-7523
 E-mail : yasuyuki@nikken-kogyo.jp

総合建設業

株式会社 鱒淵建設
 代表取締役 鱒淵 孝男
 取締役 鱒淵 智行 (平成11年卒)
 建築部 小牧 英夫 (昭和56年卒)
 宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261


有限会社 マルワガラス
 代表取締役 薄井 和英 (昭和55年卒)
 宇都宮市御幸ヶ原町155-2 TEL (028) 613-2025 FAX (028) 663-8411

小倉崇以先生「勉学を続ける、あなたへ。」 トップ英進部・英進部 科学講演会

令和4年9月22日(木)、栃木県救命救急センター所長の小倉崇以先生をお招きし、トップ英進部・英進部の科学講演会(同窓会後援行事)が県教育会館大ホールで開催されました。小倉先生は、新型コロナウイルスの治療にも大いに活用されている人工心肺装置=エクモ(ECMO)治療の第一人者として著名な医師で、民放の「情熱大陸」で特集されたことでも知られています。その小倉先生から、「一流とは」「人生の勝負所」といった示唆に富んだお話を伺うことができ、生きていく意義など、考えを深化させる貴重な機会となりました。

講演会後には、同窓会の天野辰美事務局長から謝辞が

述べられ、さらに、地球環境クラブのチームテレサおよび生徒会の呼びかけによって作成された「医療従事者の皆様に対する感謝のメッセージ」が、船田元学院長から小倉先生へと手渡されました。急患の対応を済ませてから会場へ駆けつけてくださった小倉先生のお姿に接し、生徒たちにとっては緊張感漂う中、人生・命の尊さと真剣に向かい合うことができたかけがえない時間となりました。



OB・OG 会活動報告 硬式野球部創部120周年記念事業

硬式野球部OB会事務局長 須永 眞市(昭和57年卒)

明治35年(西暦1902年)創部の硬式野球部は、お陰様で創部120年を迎えることができました。この間、甲子園優勝3回をはじめ数々の栄光の戦歴を有し、その歴史や伝統、実績は、栃木県内はもとより全国に名を馳せる高校野球の名門校となりました。

このたび、これからも作新野球が進化・発展し続けるよう、学院、同窓会及びOB会が連携し、また多くの方々の協力をいただき、創部120周年記念事業を展開しております。

(1) 記念式典及び祝賀会

11月27日(日) 船田学院長や安藤同窓会長をはじめ180名参加のもと盛大に開催

(2) 智辯学園(奈良県)との交流試合及び学童野球チームとの交流会

11月26日(土) 小山運動公園及び27日(日) 作新グラウンドで開催

(3) 雨天練習場やナイター照明等の練習設備改修整備事業

広く寄付金を募り、今後設備改修に活用(現在、寄付金募集中)



同窓会新役員紹介



副会長
天野 辰美
(昭和45年卒)

5年間の事務局長を経て、総務企画部担当副会長に選出されました。今年創立138周年を迎える作新学院の歴史の重みを感じ、次の世代にしっかりと同窓会活動を引き継いでいくことが私の務めと思っています。引き続きご指導・ご協力のほど、よろしくお願いたします。



幹事長
安藤 篤史
(平成10年卒)

青年部長10年、総務企画部長2年を経て、幹事長に選出されました。10年以上単独幹事長不在でしたので、前幹事長から幹事長の役割を教えて頂き、しっかりと努めて参ります。下は20代、上は80代と年齢の幅の広い同窓会、年代の架け橋なる事を強く意識しております。引き続きご指導・ご協力のほど、よろしくお願いたします。



事務局長
渡邊 毅
(昭和50年卒)

日々この重責を実感している最中ではありますが、同窓会活動がスムーズに遂行できますように、作新学院高等学校での教員生活の経験を活かし、責務を全うしたく存じます。ご要望やお気付きの点がございましたら、お気軽にお声掛けください。



総務企画部 部長
福田 裕
(平成4年卒)

総務企画部では「総会」や、成人年齢の引き下げに伴い、本年度より名称を「成人祝賀会」から「二十歳を祝う会」に変更された会に携わっておりますが、近年、未曾有の災禍の中、自粛を余儀なくされました。20歳の同窓生の節目を祝福し、同窓会への愛着を深めてもらうことを目的としていますので、今年度は開催を願っております。今後も同窓生皆様方の活動と学校との交流の一助となるよう努めてまいりますので宜しくお願いします。

同窓会組織(執行役員)

会長	安藤 寛樹(昭和45年卒)	副会長	櫻井 英治(昭和57年卒)	総務企画部 部長	福田 裕(平成元年卒)
副会長	吉高神 渡(昭和45年卒)	//	長岡 正(昭和58年卒)	組織財政部 部長	本澤 崇(平成2年卒)
//	天野 辰美(昭和45年卒)	//	渡邊 幸雄(平成4年卒)	広報部 部長	黒崎 裕康(平成3年卒)
//	高橋 光男(昭和54年卒)	幹事長	安藤 篤史(平成10年卒)	文化厚生部 部長	古谷 祥一(昭和58年卒)
//	小牧 英夫(昭和56年卒)	事務局長	渡邊 毅(昭和50年卒)	青年部 部長	石川 高文(平成15年卒)